

## (学-1) 自学自習の記入の必要がある科目：本科学修及び専攻科の講義演習（授業内容部分に墨線あり 16週分）

科目名	応力解析特論	英語科目名	Stress analysis theory			
開講年度・学期	平成 24 年度・後期	対象学科・専攻・学年	複合工学系機械工学コース			
授業形態	講義、演習	必修 or 選択	選択			
単位数	2 単位	単位種類	学修単位 (15+30) h			
担当教員	川村壯司	居室（もしくは所属）	機械工学科棟 2 階			
電話	0285-20-2201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp			
授業の達成目標		授業達成目標との対応				
		小山高専の 教育方針	学習・教育 目標 (JABEE) JABEE 基準 要件			
1. パンタグラフ形ねじ式ジャッキの設計ができること。		②⑤	(A-2)			
2. 三次元 CAD で設計ができること。		②⑤	(A-3)			
3. FEM を用いて応力解析ができること。		②⑤	(A-3)			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法						
達成目標 1～3 について 60% 以上の成績で達成とする。 三次元 CAD ソフトによる設計および製図ができること (20%). FEM ソフトを用いた応力解析ができる (20%). 初期設計案に対する評価・考察から最終設計案に変更した説明ができるレポート (60%). これらの総合から、60%以上を合格とする。						
評価方法						
パンタグラフ形ねじ式ジャッキの設計を行い、三次元 CAD にて製図し、FEM による応力解析から、各自の設計の妥当性を検証するレポートを作成。 授業への出席を前提条件として、レポートによる評価で行う。						
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間				
1. コンピュータ援用による最適設計について	材料力学全般の復習	4				
2. 簡単なモデルを例に、三次元 CAD ソフト (Autodesk Inventor Series 8) で設計し、FEM 解析を行う	材料力学全般の復習	4				
3. 例題について設計し、FEM 解析を行う。 理論値と解析値を比較	材料力学全般の復習	4				
4. 例題について設計し、FEM 解析を行う。 理論値と解析値を比較	材料力学全般の復習	4				
5. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	三次元 CAD の操作方法の復習	4				
6. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
7. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
8. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
9. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
10. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
11. 三次元 CAD ソフトによる課題の設計	設計課題の復習	4				
12. FEM による課題の応力解析	有限要素法について復習	4				
13. FEM による課題の応力解析	設計値の計算確認	4				
14. FEM による課題の応力解析	設計値の計算確認	4				
15. 課題レポートの評価	設計値の計算確認	4				
			4			
		自学自習時間合計	60			
キーワード	三次元 CAD, FEM, 応力解析					
教科書	特に指定しない					
参考書	本科で使用した設計関係のもの					
カリキュラム中の位置づけ						
前年度までの関連科目	材料力学、工作実習、機械設計製図 I・II・III					
現学年の関連科目	計算力学					
次年度以降の関連科目	特になし					
連絡事項						
試験は行わない。 講義中心で進めていくため、確実に出席をすること。						
シラバス作成年月日	平成 24 年 2 月 28 日					